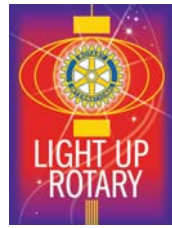




2014～15 年度
国際ロータリー会長

ゲイリー C. K. ホアン

Weekly Report Niigata



ロータリーに輝きを

2014～15 年度 国際ロータリーのテーマ



2014～15 年度
新潟ロータリークラブ会長

高橋 秀樹

新潟 RC 3 月第 3 例会 (2015.3.17) No.3079

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 高橋 秀樹会長挨拶

さて、先週、社会奉仕委員会からみなさまに探鳥会のご案内が届いているかと思います。これは自然について子どもたちが学ぶことを支援する社会奉仕活動ですが、朝、林の中を散策することは健康にもよいかと思しますので、ご関心のある方はご参加ください。また、この企画はロータリー財団の地区補助金を得て実施されるものとなっております。しばしば誤解されがちなのですが、地区補助金は、ロータリアン自らが行う奉仕活動のために配分されるものですので、どこかに活動を丸投げするためのお金ではありません。しばしばこの点が疎かになりがちなので、ロータリアンが参加して活動していることを示す記録、活動状況の写真や映像などが監査の対象となります。それらを適切に示すことができない場合には、返還を求められることもありますので、この意味でも、ご参加頂ければ幸いです。

とは言っても、いきなり鳥を見ましようと言われても、唐突な印象を抱くかたもおられるかと思います。私も、社会奉仕委員会からこの企画を伺ったとき、少々びっくりしましたのですが、実は大変嬉しゅうございました。それには次のような事情があります。

もともと私は鳥が好きで、子供のころからインコなどを飼っていましたが、野鳥の観察にはあまり興味がありませんでした。ところが、今から 25 年前に父親が肺癌と脳血栓を併発し、半身不随となったことがきっかけで、野鳥に関心を持つようになりました。

長い入院生活から帰ってきた父は、一日中車椅子で過ごし、本を読んだりテレビを見たりする以外にできることがなく、本人も家族も気が塞いでいくばかりでした。そこで母が思いついたのが、庭に鳥の餌台を作って野鳥を呼び寄せ、父に見せてみてはどうかということでした。餌台を作ってからしばらくすると、やがて雀がやってくるようになり、次いでヒヨドリ、メジロ、シジュウカラ、ムクドリなどが頻繁に姿を見せるようになりました。一日中車椅子で過ごしている父が鳥たちを一番詳しく観察しているという結果になり、鳥たちの様子について盛んに話すようになって、ずいぶん家の中の雰囲気明るくなりました。

そうなってくると母や私が餌台に餌を置くのにも熱が入ってくるようになり、益々鳥が集まってきて、それがまた面白くて仕方がなくなってきました。鳥たちもだんだん慣れてきて、朝空が明る

くなってくると、庭の立木に何羽もとまって盛んに鳴きたてて餌をねだるようになり、餌台に餌を置くまで鳴きやまず、餌台に餌を置き、餌台に背を向けた途端に一斉に舞い降りてくるという状態になりました。さらに、日中、庭で草むしりをしていると、すぐそばの立木にとまって鳴きたてて餌をねだるようになり、ついには、窓のそばに近づいて姿を見せるだけで、すぐさま何羽かやってくるようにさえなりました。その頃には、窓から離れたところにある餌台だけではなく、サッシのすぐそばの石段に直接餌を置いても怖がらずにやって来るようになっていました。ところが、ある夏の日のことですが、窓を開け、網戸を閉めるのを忘れていたことがあり、餌を置いていた石段から雀が家の中に入ってきたことがありました。最初、私たち人間のほうでは微笑ましく感じて眺めていたのですが、雀自身にとっては大変なパニックになっており、家の中を逃げ惑い、窓は開け放してあるのに、どうしても外にでることができません。窓に誘導するように追い立ててみたのですが、それが益々雀のパニックを煽ったようで、一層狂ったように飛び回ってどうしても外に逃げ出してくれません。それどころか、何度も壁やサッシに激突して床に墜落し、そこからまた狂ったように飛び立って別な壁やサッシに激突するということを繰り返しました。壁やサッシに当たると小さな鳥がぶつかっただとは思えないほど大きな音がして、その度ごとにとうとう死んでしまったに違いないと思われました。最終的にはなんとか逃げ出してくれたものの、大変後味の悪い思いを噛み締めました。雀の方が勝手に家の中に入ってきたのに、何故か自分たちの方がとても悪いことをしたような気持ちになりました。悪気はなくても、やり過ぎると却って残念な事態に至ることがあります。今でも庭に餌台はありますし、家の中ではペットとしてセキセイインコを飼っていますが、野生の鳥については、極端に手なずけることはしないようにしています。

滝野瓢水の「手に取るなやはりに野に置け蓮華草」という句があります。我々人間は、何事によらず自分の勝手な都合で周囲の自然に強引な影響を与えがちです。そうしなくては生きていくことはできないので、ある意味では仕方ないことなのですが、だからといってどこまでも本来の姿を捻じ曲げていってよいということにはなりませんし、人間以外の生物の生きる環境を損なってよいということにはなりません。そういったことが、いずれ人間に跳ね返ってくることは、3 月 3 日の会長挨拶で魚の例をあげてお話しました。ところが、少なくとも日本の現代社会においては、日常生活の中で、野生動物が生き生きと活動している姿を見ることはあまりなくなっているのです、このようなこ

とを自覚する機会は大変少なくなっています。しかし、鳥たちだけは、日常生活の中で、町の中でも、その野生の姿を見ることができます。さらに、姿は見えなくても、囀りが聞こえてくればその存在を感じることができます。鳴き声で鳥の種類がわかれば、いっそう身近に感じ、共に同じ空間の中でそれぞれ独立して日々の生活に勤しんでいることが実感されます。日常生活の中で、これほど身近な野生の生き物はあまりないと思います。4月18日の探鳥会は、野生動物としての鳥たちの姿に接する良い機会かと思えます。ご都合のつく方は、社会奉仕活動として子どもたちと過ごすために、あるいは健康のために、そしてまたあるいは野生の生き物が人間と肩を並べて生きている姿に接するために、どうぞご参加ください。

(3) ビジターの紹介

- ・佐々木 久君(東京西北 RC)
- ・青池秀夫君、山本文治郎君(新潟西 RC)

(4) 青池秀夫新潟西 RC 創立 4 0 周年記念式典実行委員長、山本文治郎副実行委員長より式典参加依頼

(5) 委員会報告

・榎熊 紀雄財団委員長
今日は、例会の貴重な時間をいただき、ミリオンドラミールについてのお願いをしたいと存じます。ポリオの無い世界を目指して、突発的感染の沈静化から、歴史的な節目の実現まで、ロータリーは、世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)が大きな前進を遂げることを可能にしてきました。ロータリーは、世界保健機構(WHO)、ユニセフ、米国疾病対策センター(CDC)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団とともに、世界ポリオ撲滅推進計画で指導的な役割を担っています。ロータリー会員は、子供たちに実際に経ロワクチンを投与するだけではなく、子供に予防摂取を受けさせることに反対する地域社会のリーダーを説得する上でも貢献してきました。また、政府や企業に対する撲滅支援の働きかけは、ロータリー会員からの惜しみない寄付と相まって、2018年までに全世界でのポリオ撲滅認定を目標とする、ポリオ撲滅最終戦略計画を押し進める力となってきました。2015年は、世界からポリオをなくすことを目的としたポリオプラス・プログラムをロータリーが開始して30年目に当たります。1985年、年間35万件あったポリオの発生件数が2014年には359件以下に減少しました。今後も、撲滅が達成されるまで、積極的な活動が継続されます。ロータリーがこの活動に寄付した金額は、13億ドルにのぼり、ボランティアによる懸命な努力によって、世界20億人の子供たちをポリオの脅威から守ってまいりました。2015年は、1月から2月までにパキスタンで7名の発生があります。紛争地域では発生が後を絶ちませんが、地道に取り組んで行くしかありません。本日は、今年度ロータリー財団委員会の活動計画の一環として、2月の理事会でご承認いただきミリオンドラミールを実施し使途指定寄付としてお願いすることとなりました。これまでポリオ撲滅への取り組みをご理解いただき、最後の追い込みの時期としてご賛同いただければと存じます。どうかご理解のほどよろしくお願い致します。

・本間 彊青少年奉仕委員長
青少年奉仕委員会では、青少年育成基金の贈呈先を募っておりご案内がお手元に届いたかと存じます。是非、推薦したい個人、団体がございました3月末日までにお知らせ下さい。現在の寄付は大体36万円程です。青少年育成基金は創立50周年の記念事業としてクラブ基金から1400万円を繰入れて発足致しました。当初は年7%の金利がついており、金利だけでの運用が可能でしたが、現在はとてもそれでは支援できませんので、今後の課題となろうかと思えます。

・高橋 清文地区 RA 委員長
去る3月14日(土)ANA クラウンプラザホテルにて第2560地区 RAC 第45回大会が開催されました。当日は約140名の参加のもと、RAC メンバーが半年前より取り組んで来ただけに式典・活動報告・懇親会のアトラクションと盛りだくさんの内容にも関わらずそれぞれがしっかりと構成されていました。ほとんどが20代の若者たちで活動していることに改めて驚かされ感心した幸いです。残り期間も限られてきましたが引き続き最後までのご支援宜しくお願いします。

・高橋 康隆料理研究会会長
3月27日(金)18:00~20:00 新潟調理師専門学校に於きまして10回目となります料理研究会を開催致します。今回のテーマは「水餃子」です。ようやく晩酌つきとなりますので、初めての方も是非、ご参加をお待ちしております。お申し込みは私か、吉田和弘さんをお願い致します。

(6) 各種ご寄付の発表

- 米山奨学会寄付発表(徳永 昭輝委員長)
竹石 松次 君
- 青少年育成基金寄付発表(山田 隆一委員長)
本間 彊君

(7) ニコニコボックス紹介(井原 健至委員)

・山本正治君 3月11日、無事、卒業式の式典を終えました。約2500人参加しました。これで4月の入学式まで学長はヒマとなります。
・高橋 清文君 3月14日 ANA クラウンプラザホテルにて第2560地区ローターアクト45回大会が開催されました。当クラブより高橋 秀樹会長を始め多くのメンバーの方々よりご登録ご参加頂きましてありがとうございました。アクターメンバーも多いにニコニコしての大会でした。

(8) 会員スピーチ 「日本銀行の金融政策」
日本銀行新潟支店長 千田 英継君



量的・質的金融緩和の拡大(14年10月)	
これまでに	これからの
資金供給額 年10~15兆円増	+10~20兆円 年20兆円増
長期国債購入 年10兆円購入	+20兆円 年20兆円増
国債の償還期間 7年程度	最大10年 延長
ETF 年1兆円購入	3兆円 年3兆円増
REIT 年3000億円購入	3兆円 年3000億円増

昔の日銀新潟支店

- (9) 本日の出席率 76.85 %
(2 週間前メーク後 88.54 %)

3月24日の例会予定

卓話「勤務医 40 年を振り返って

～外科医・小児外科医として～」

白根大通病院院長 新田 幸壽氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigataarc.jp/>